

18th

MACS

2022 コロキウム

2021 年度 MACS 成果報告会

2月14日(月) 15:00~

講演形式：オンライン配信 (Zoom)

【参加登録】

<https://forms.gle/hAFDC8ctntfPgvyv8>

登録されたアドレスに、Zoom のミーティング ID を送付いたします。



プログラム

15:00~ 【第18回 MACS コロキウム】

『赤外線天文学と数理 – 不如楽之者』

講演者：長田 哲也 氏

京都大学 大学院理学研究科 物理学・宇宙物理学専攻
宇宙物理学教室 教授

16:05~ 【2021 年度 MACS 成果報告会】

フラッシュトーク (16:05-16:30)

SG1: データ同化の数理と応用：
理論モデルとデータをつなぐデータサイエンス

SG2: XR で見る・3D で触る先端科学

SG3: 本物を見て考えよう！：
脊椎動物の胚観察から数理の可能性を探る

SG4: 自然科学における統計サンプリングとモデリング：
数理から実践まで

SG5: 理化学研究所と MACS を繋ぐパイプライン

SG6: 自然界に見られる大きさと時間を見比べる

SG7: 疾患における集団的細胞挙動の数理モデルの開拓

SG8: コンピュータでとことん遊ぶ

SG9: 理学におけるデータ科学：
理論と実践～数物理論と機械学習～

SG10: 自然放射線の時系列データを読み解く

SG11: 生命流体×流線トポロジーデータ解析 (TFDA) 3
生命のつくる流れとトポロジー

16:30 - 17:30 各スタディグループの意見交換
(Zoom ブレイクアウトルーム)

16:30 - 17:00 意見交換 (SG1-6)

17:00 - 17:30 意見交換 (SG7-11)

◎ 理学部・理学研究科の学生・教職員が対象です。

◎ お問い合わせ先： macs@sci.kyoto-u.ac.jp

『赤外線天文学と数理 – 不如楽之者』

1609年に望遠鏡で初の重要な天文観測を行なったガリレオが「最も偉大な書物、宇宙は数学という言葉で書かれていて、その修得なしに宇宙を理解することはできない」と書いたように、新しい知見はしばしば新しい数理とともに得られてきた。赤外線天文学はハーシェルの1800年の赤外線発見にさかのぼるものの、1960年代になってついに目覚ましい成果を生み始めた。私たちはそれを目撃し楽しめる幸せな時代にいる！



長田 哲也 氏

京都大学 大学院理学研究科 物理学・
宇宙物理学専攻 宇宙物理学教室 教授

